

事業名

熊本地震を教訓とした「成逸防災心得集」作成の取組

実施団体

成逸住民福祉協議会

成逸学区では 28 年 4 月発生 of 熊本地震の想定外の避難生活を目の当たりにして、熊本地震の教訓を学習し、災害時における住民の行動指針を今一度見直し、町内会を基本とした防災まちづくりの取組をもっと身近な取組として定着することを目的とした事業に取り組みました。

避難所運営マニュアル改訂

熊本地震を教訓に、「在宅避難」「車中泊避難」「ペット同行避難」の項目の再検討を行い、避難所運営マニュアルを改訂し、その概要版を全世帯に配布しました。

成逸学区避難所運営マニュアル



平成 20 年 12 月作成
平成 25 年 12 月改訂
平成 29 年 1 月改訂
成逸自主防災会

成逸防災心得集案作成

「東京防災」を参考に、災害に対する基礎知識をまとめ、「せ〜いので防災」を合言葉に「成逸防災心得集」を編集しました。29 年度に全世帯への配布を目指します。



防災まちづくり大賞受賞

成逸自主防災会の長年にわたる防災まちづくり活動の蓄積の成果として、「第 21 回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞」を受賞しました。



町内会を基本とした防災まちづくりの取組

～顔の見える安心感のある成逸のまち～



熊本地震の体験を学ぶ 学習会開催（9月12日）

熊本地震の想定外の厳しい避難者の状況を目の当たりにして、改めて「もしものときに備えて、身を守る力をつけること」を痛感し、室崎先生を講師に、熊本地震の教訓を学ぶ学習会を開催しました。

■平成28年9月12日
『熊本地震の教訓に学ぶ—いま、私たちがこころえ、備えることは—』

28年度成逸総合防災 訓練（10月16日）

今年は「救出活動訓練：AEDの取扱いについて」「避難所運営訓練：仮設トイレの設置、ペット同行避難訓練」を全員で取り組み、その後体育館に移動して、住協役員が演じる「防災訓練寸劇」を見て、避難所開設の手順等を確認しました。



成逸学区『路地・まち』防災まちづくり計画

防災まちづくり目標と基本方針

＜防災まちづくりの目標＞

みんなで守り、支えあう、安全で住み良い成逸のまち
—成逸学区らしい町内会を基本とした防災まちづくり—
成逸学区では一人ひとりの取組はもとより、路地ごとや町内会で、また隣接する町内会など、地域のみなが協力して防災まちづくりに取り組みます。
来るべき災害に備え、建物（いえ）や道（まち）、まち全体の安全性を高める取組をみんなで強める「みんなで守り、支えあう、安全で住み良い成逸のまち」を基本目標に、成逸の防災まちづくりを進めます。

＜防災まちづくりの基本方針＞

- 方針① いえの安全を高める
災害時に命を守るいえづくり
- 方針② まちの安全を高める
まち全体の安全性をより高めるまちづくり
- 方針③ みちの安全を高める
災害時に安全に避難できるまちづくり
- 方針④ 町内会が元氣
顔の見える安心感のある元氣な町内会

いえ・みち・まち・町内会は大丈夫ですか？



26年度～28年度の防災まちづくり調査をもとに、成逸学区及び町内会ごとの防災まちづくり計画を策定しました。「みんなで守り、支え合う、安全で住み良い成逸のまち」を基本目標に、「成逸学区らしい町内会を基本とした防災まちづくり」に取り組みます。

『路地・まち』防災まちづくり計画の策定

毎年町内会ごとに防災まちづくり調査と意向調査を行い、現況調査と課題整理を行い、その結果をもとに26町内会ごとの防災まちづくり計画をまとめました。

学区全体及び町内会の防災まちづくり計画パンフレットを全世帯に配布し、29年度以降の継続的な取組を呼びかけています。

各町内会ごとの防災まちづくり計画の策定

成逸『路地・まち』防災まちづくり計画 町内会別『路地・まち』防災まちづくり計画

成逸『路地・まち』防災まちづくり計画 町内会を基本とした防災まちづくり

みんなで守り、支えあう
ご近所・町内会
自ら守る
個人・家庭



- 東天神町
- 下天神町
- 上天神町
- 天神北町
- 瑞光院前町
- 新ノ町
- 東若宮町
- 若宮堅町
- 若宮横町
- 北筋違橋町
- 南筋違橋町
- 北仲之町
- 仲之町
- 西若宮北半町
- 西若宮南半町
- 堅社北半町
- 堅社南半町
- 社突抜町
- 社横町
- 七野社町
- 東社町
- 前之町
- 東千本町
- 西千本町
- コスモ・プリオーレ町